



変わりゆく夏の景色と 変わらなければならない学校教育と

熊本地震や千葉の豪雨災害の報道に接するたび、被災された方々のことが気がかりです。かつて久田美の復旧ボランティアに参加した際「やってもやっても…片付かない・進まない」と感じた厳しさと、それでも「人と人が助け合う・支え合う心強さ」を思い出します。遠く離れた地にいる私たちに「何ができるのか？」は悩ましいですが、まずは被災地に心を寄せ続けたいと思います。

能登半島地震の教訓から、京都府教育委員会は、災害有事からの速やかな教育活動の復旧と児童生徒の心のケアを目的にした専門チーム「D-EST」（ディーエスト）を編成しました。研修を受けた14名の教員が熊本県宇土市に向けて8月24日から4週間の予定で派遣されています。

この夏休みは熱中症警戒アラートWBGT31は連日のことで、部活動を停止することが多かったです。また今年はニュース報道で見聞きする「水の事故」が多かった印象です。海と川が身近な加佐校区とて、気安くは遊ばせられないでしょうか。これも豊かな自然体験と安全管理の両面背中合わせで、悩ましい。

夏休みは、滋賀県彦根市で行われた全国高校総体インターハイの陸上競技を観戦しに行きました。暑熱対策として、競技開始は夕方17時から。最終種目は22時！選手はそこから宿舎に戻り、役員は会場整理や明日の準備など…。準決勝ラウンドや試技数を減らして時間短縮を図ったものの、例年の5日開催が7日間に延長され「1週間毎日深夜業務なのか…」と競技運営の大変さを思いながらも、主役の選手たちが日本一の晴れ舞台に全国から集った競技場の熱量を受けて、元気をもらいました。中学校の全国大会（陸上競技：山口県）は15時開始⇒19時終了の番組編成です。日によっては15時段階で、気温が下がっておらず、スタート時刻を繰り下げる対応があったようです。夏の甲子園もしくり、これまでの夏の景色が変わりつつあります。一見すると「え～、そんな風になるの？（変わるの？）」と思うかもしれませんが、充実した学習活動と健康・安全を両立させるためには、従前の当たり前を見直し、思い切った改革が必要なんだと思う夏でした。2学期が始まります。引き続き、応援してください。

舞鶴市立加佐中学校 校長 阪口靖敬 教職員一同

【ご案内】令和8年度 平和祈念式典開催について

「引き揚げのまち舞鶴」として、「次世代への継承」から、若者自らが主体となって語り継ぐ「次世代による継承」へ、さらには平和な未来に向け、次代を担う若者とともにすべての世代により「引き揚げの史実と平和の尊さを発信する」ことを目的として、令和8年度平和祈念式典を下記の通り開催します。お時間がありましたらご参加いただきますようお願いします。

1. 日 時 令和8年10月10日（土）午後2時～
2. 会 場 引揚記念公園
3. 内 容 黙とう 式辞 献茶・献花 朝来小・大浦小・若浦中代表児童生徒による平和へのメッセージ
4. その他 当日は「舞鶴引き揚げの日」の特別行事を引揚記念公園、引揚記念館で同時実施します。

【お知らせ】舞鶴市の教育DX推進の取組について

舞鶴市立の小・中学校におけるデジタル技術の活用は全国的に高い評価を得ています。

取組の成果を舞鶴市公式HPに掲載しましたので、右のQRコードからご覧ください！

【掲載内容】

- ・教員業務のデジタル化水準が京都府内1位を記録！
- ・先進的な授業改革のPR動画を公開！



・舞鶴市公式HP